

第10回記念 ベスト・オブ・ベスト

第10回記念 ベスト・オブ・ベスト

ここに紹介した本は、箕面・世界子どもの本アカデミー賞が始まってから今までの受賞作品です。この中からみなさんが一番好きだと思った作品をひとつ選んでください。

みなさんの投票で「ベストオブベスト・ヤングアダルト大賞」が決まります。まだ読んでいない本があったら、この機会に読んでみてね。



バッテリー

あさのあつこ/作
佐藤真紀子/絵
教育画劇
2010年度受賞

父親の転勤で引っ越し、祖父の家で暮らすことになる巧。そこで、キャッチャーの同級生・豪と出会い、最高のバッテリーを組めると自信をのぞかせるが、野球への情熱、家族との関係、将来の進路などさまざまな重いが重なり合い…。天才的ピッチャー・巧の成長を描く。



フリーター、家を買う。

有川浩/著
幻冬舎
2011年度受賞

25歳、大卒。いつまでも情けないヤツでいたくない。そこそこの会社に入ったのに3ヶ月で辞め、ニートでひきこもりになった男が、母のうつ病をきっかけに家を建てることを目標に成長していく。



流星の絆

東野圭吾/著
講談社
2012年度受賞

流星を見に三兄弟が家を抜け出した夜、両親が殺された。「もし、犯人が分かったら、俺たち三人で殺そうぜ」時効間際の復讐劇は意外な方向へ。



卒業ホームラン

重松清/著
新潮社
2013年度受賞

智は所属する野球チームで万年補欠の選手。「報われなくとも頑張る」智の事を理解できないでいる父・徹夫。試合終了後、二人はマウンドで向き合う。



都道府県の持ちかた

バカリズム/著
ポプラ社
2014年度受賞

都道府県を手に持ったり、なでたり背負ったり、かわいがってみよう。地理にこんな楽しみ方があったとは！驚き笑って感心して、都道府県の形まで覚えられる楽しい一冊。



ディズニー そうじの神様が教えてくれたこと

鎌田洋/著
SBクリエイティブ
2015年度受賞

ディズニーランドが夢と冒険と魔法の国であり続ける秘密は、「そうじ」にあった。スタッフが心をこめて「そうじ」をすることが、お客様を幸せにするという、ディズニーの魔法の物語とは？



掟上今日子の備忘録

西尾維新/文
VOFAN/絵
講談社
2016年度受賞

もし自分の記憶が一日しかもたないとしたら。眠ってしまうとすべての記憶を失ってしまう忘却探偵・掟上今日子と、いつもややこしい難事件に巻き込まれてしまう依頼人・隠館厄介がなぞを解くミステリー小説。



君の臓物を食べたい

住野よる/著
双葉社
2017年度受賞

まったく偶然に、同じクラスの山内桜良が臓物の病気で余命いくばくもないと知ってしまった僕。彼女は嬉しそうな顔で僕に言ったんだ。「残り少ない私の人生の手助けをさせてあげてもいいよ」と。それが始まりだった。



そして誰もいなくなった

アガサ・クリスティー/著
青木久恵/訳
早川書房
2018年度受賞

無人島に集められた10人の男女。楽しい休暇を過ごすはずが、一人、また一人と順番に殺されていく。「犯人は何者だ？次に殺されるのは誰？」脱出不可能な島で、客たちは互いにさぐり合い、不安な日々を過ごしていく。